

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

季 季	英文学専攻 博士前期課程	方 式	科 目
		A 一 般	英 語

受験番号 _____

氏 名 _____

(2 - 1)

- I. 次の問題文を読み、(1) と (2) の問い合わせに答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

Friedman, Susan Stanford. "Translational Migrations: Novel Homelands in Monica Ali's *Brick Lane*." *Times of Mobility: Transnational Literature and Gender in Translation*. Edited by Jasmina Lukić, et al. CEU P, 2019. 一部改変あり

- (1) 問題文を100字前後の和文で要約しなさい。
- (2) 問題文の内容についてあなたの意見を15行程度の英語で述べなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

季 秋	英文学専攻 博士前期課程	方 式	科 目
		A 一 般	英 語

受験番号 _____

氏 名 _____

(2 - 2)

《解答別紙》《辞書使用不可》

II. 次の問題文を読み、(1) と (2) の問い合わせに答えなさい。

みなさんが言語研究の世界についていろいろ学んでいくうえで留意してほしいことを書いておきます。

それは、分析や理論構築をする際には明示性を尊重することを心がけようという点です。(a)「明示性」とは「言うべきことを言い残したり曖昧にしたりしないで、すべて明確な言葉で表現し尽くしている」ということです。この性質は「あらかじめ決めた約束に従って解釈すれば、だれでも同じ結論に至る」と言い換えることもできます。たとえば、「 $2+3$ 」は足し算の約束に従って計算すれば、だれが計算しても答えは「5」になります。この意味で、足し算の仕組みは明示性を持つと言えます。分析や理論の明示性を高く保つということは、分析や理論の妥当ではないところがはっきりしやすくなるということです。

初学者は自分の分析や理論が妥当性に欠けるものであることが明らかになることを避ける傾向があり、明示的であることを回避し、あいまいな部分を残しがちです。しかし、(b)わたしたちが分析や理論構築を行うのは自分の分析や理論を後生大事に守ろうとするためではなく、真実に少しでも迫るためです。自分が提案した分析や理論が妥当でないとき、その明示性が高ければ高いほど、その分析や理論が妥当性に欠けている原因を特定しやすくなり、つぎの研究課題を明確に認識しやすくなります。つまり、研究の生産性を保つことができるのです。

大津由紀雄（他）監修『言語研究の世界』研究社 2022年 一部改変あり

(1) 下線部 (a) と (b) を英文に訳しなさい。

(2) 全文の内容を 6 ~ 7 行の英文に要約しなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

季 春	英文学専攻 博士前期課程	方 式	科 目
		A 一 般	英 語

受験番号 _____

氏 名 _____

(2 - 1)

《解答別紙》《辞書使用不可》

- I. 次の問題文を読み、(1)と(2)の問い合わせに答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

Cognitive Skills Linked to Language Learning, *Language Magazine*, May 15, 2023. Downloaded on 12/2/24.
<<https://www.languagemagazine.com/2023/05/15/cognitive-skills-linked-to-language-learning/>>

- (1) 全文を 100 文字前後の日本語で要約しなさい。
(2) 全文の内容についてあなたの意見を 15 行程度の英語で述べなさい。

2025年度 大学院入学試験 問題用紙

季 春	英文学専攻 博士前期課程	方 式	科 目
		A 一 般	英 語

受験番号 _____

氏 名 _____

(2 - 2)

«解答別紙» «辞書使用不可»

II. 次の問題文を読み、(1)と(2)の問い合わせに答えなさい。

私たちの身の回りの世界だけを見ていると、最初はその世界が永遠に続いているように見えるかもしれない。だが、実際にはどこかで有限になっている。地球の場合、地面に果てはないが、まっすぐ進んでいくと元にいた場所に戻ってしまう。どこかに途切れた場所があるわけでもないのに、全体としては有限だ。

地球が丸いことを知っている現代人には、地面が無限に広がったものでないことは常識だ。だが、それによって昔の人の無知を笑うことはできない。(a)地面を宇宙空間に置き換えてみるとどうだろう。現代人も昔の人と大して変わらないことに気がつく。宇宙空間が無限に広がっているのかどうかは、現代人にとって大きな謎にとどまっているからだ。

空間というのは、地面と違って具体的な物質ではない。空間は物体が動き回ることのできる場所であって、触ったり掴んだりすることのできない、いわば抽象的な存在だ。地球の地面が有限の存在だったからといって、空間も同じように有限の存在であるはずだと安易に言うことはできないのも事実だ。

(b)私たちの身の回りにあるもので無限の大きさを持つものは存在しない。だが、空間の大きさだけは例外で、無限であるという可能性も否定できないのである。

松原隆彦『宇宙は無限か有限か』（光文社新書、2019年）

- (1) 下線部(a)と(b)を英語に訳しなさい。
- (2) 全文の内容を6~7行の英語で要約しなさい。